

## 折に触れ 四字熟語

### NO. 87 『黒風白雨』 こくふう はくう

< 意味 > 暴風とにわか雨。暴風雨。

< 出典 > 蘇軾 「望湖樓醉書」五絶之一 (望湖樓の醉書 五絶の一)

黒雲翻墨未遮山 黒雲 墨を 翻 して 未だ山を 遮 らず  
白雨跳珠亂入船 白雨 珠を 跳 らせて 乱れて船に 入る  
卷地風來忽吹散 地を 卷く の 風 来 っ て 忽 ち 吹 き 散 ず  
望湖樓下水如天 望湖樓下 水 天 の 如 し

通 釈：あたかも墨をこぼしたかのような黒雲が天の一角に現れたが、まだ前方の山をおおい隠さないうちに

早くも大粒の夕立が、白玉を踊らせるように、ばらばらっと船板にたたきつけ、船中にまで飛び込む

とみるまに、大地の土を巻きあげるような強風がさっと吹いて来て、満天の雨雲を吹き散らしてしまう

あとは、うそのように晴れ上がって、雨後の望湖樓下の水は、一点の雲もない天を映して澄みわたっている

語 釈：「黒風」はちりやほこりを巻き上げる強い風。暴風。「白雨」はにわか雨のこと。

一 言：風雨シリーズ その1

非常に強い台風21号が、主に関西地方に大きな被害を与えて行きました。今年台風襲来が多いようです。

参照文献：角川書店「中国名詩鑑賞辞典」 岩波書店「四字熟語辞典」